

次期「人口ビジョン・まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定等について

1. 現行の人口ビジョン及びまち・ひと・しごと創生総合戦略について

- 2015年10月に、2060年に700万人程度の人口を確保するとして「人口ビジョン」と、その実現に向けた5か年（2015～2019年度）の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定。
- 総合戦略の的確な推進を図るため、**毎年度、外部有識者、関係機関等からなる検証会議を開催し、施策・事業の進捗状況や数値目標、重要業績評価指標（KPI）の達成状況について検証**を行い、必要に応じて施策・事業の見直しなどを行っている。

2. 次期人口ビジョン及びまち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について

- 現行の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の計画期間が2019年度に終了することから、**次期「人口ビジョン・まち・ひと・しごと創生総合戦略」を2019年度末を目途に策定**する。

＜検討体制＞

- **節目ごとに、「愛知県まち・ひと・しごと創生総合戦略推進本部」を開催**し、県庁全体で情報共有を図りながら、次期人口ビジョン及び総合戦略を策定する。
- 学識者、産業界、労働団体、金融機関等からなる「**愛知県まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議**」を開催し、専門的見地から助言を得るとともに、幅広い意見を反映させていく。
- 県内を6地区（名古屋、尾張北東部、尾張中西部・海部、知多、西三河、東三河）に分け、**市町村との意見交換会を開催**し、地区の課題や取組の状況を把握するとともに、市町村が策定する総合戦略への助言等を行う。

＜基礎調査の実施＞

- 基礎調査として、県外居住者を対象とした**愛知県内への移住希望等のアンケート調査**や、人口のメッシュデータにより**人口の動向が地域社会・経済に与える影響を分析する調査**を実施し、総合戦略の検討に反映させていく。

＜策定スケジュール＞

